

【南海トラフ巨大地震への備え】 三重大学で学生に「防災備蓄食セット」と「保存水」を配布

～非常食を食べながら、防災について考える啓発イベントを開催～

三重大学では、防災意識の向上を目的として、「防災備蓄食セット」および「保存水」の配布イベントを下記のとおり開催いたします。本イベントは、公益社団法人日本非常食推進機構から提供された賞味期限が近づいた防災備蓄食等を活用し、本学の学生・教職員に対して防災への関心を高める機会として実施するものです。実際に非常食や保存水を手に取り、食する体験を通じて、日頃の備えや防災備蓄の重要性について考えていただくことを目的としています。

災害への備えや防災教育の重要性を広く地域の皆さまに知っていただくため、ぜひ当日の取材をご検討くださいますようお願いいたします。配布の様子や参加者へのインタビューを通じて、「防災を自分事として考える」啓発活動としてご紹介いただければ幸いです。

記

日時： 令和 8 年 7 月 30 日(木)10:00～15:00

場所： 三重大学 三翠ホール内 ホワイエ （三重県津市栗真町屋町 1577）

配布内容：

- ・防災備蓄食セット
- ・保存水

配布数量： 420 セット（先着順、当日分がなくなり次第終了のため、早期に終了の可能性あり）

【イベントのポイント】

近年、南海トラフ巨大地震への備えが重要視される中、本学では学生・教職員の防災意識向上に継続的に取り組んでいます。本イベントでは、災害時に実際に利用される非常食を体験することで、各自が家庭や地域での備蓄について考えるきっかけづくりを目指します。

<本件に関するお問い合わせ>

三重大学企画総務部総務チーム防災・危機管理室 E-mail: bousai@ab.mie-u.ac.jp